



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO

Japan Community Health care Organization

JCHO九州地区

リハビリテーション

我ら全国ネットのJCHOは地域住民、行政、関係
機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して
暮らせる地域づくりに貢献します



What is JCHO?

- ◆全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
- ◆病院だけではなく、介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
- ◆このため、「急性期医療～回復期リハビリ～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。



JCHO GROUP

- 病院 57施設
- 介護老人保健施設 26施設
- 訪問看護ステーション 28施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 健康増進ホーム 1施設
- 看護専門学校 7施設

JCHO 九州地区

- 病院 14施設
- 介護老人保健施設 7施設
- 訪問看護ステーション 7施設
- 地域包括支援センター 1施設

福岡ゆたか中央病院



久留米総合病院



佐賀中部病院



伊万里松浦病院



諫早総合病院



天草中央総合病院



熊本総合病院



下関医療センター



徳山中央病院



九州病院



湯布院病院



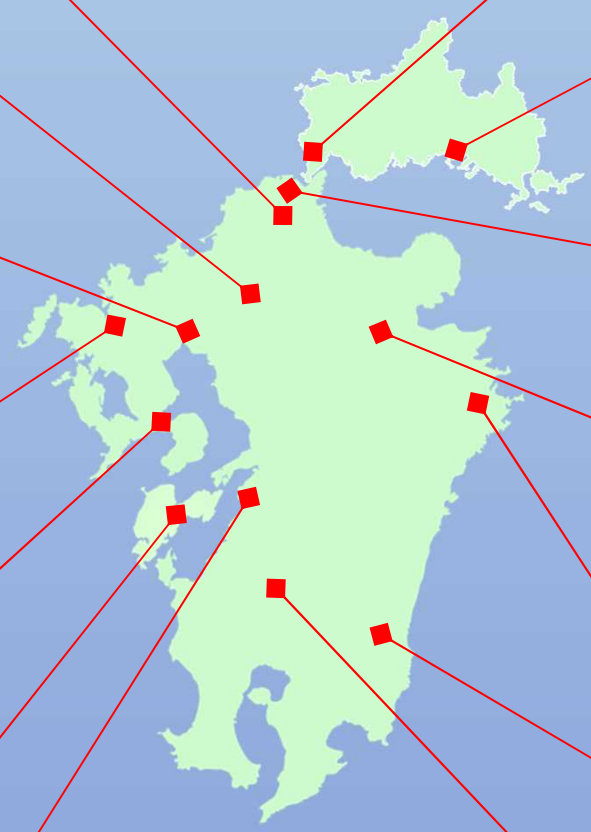
南海医療センター



宮崎江南病院



人吉医療センター



地域における医療連携の取組

地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進
 地域医療連携室・患者相談窓口の強化
 地域連携クリティカルパスの取組の推進
 地域の病院とCTやMRIなどの高額医療機器の共同利用を推進
 地域に開かれた開放型病床の運営
 地域の医療従事者及び地域住民に対して研修を定期的に開催

- 地域医療支援病院 16施設
- 地域がん診療連携拠点病院 3施設
- 都道府県が指定するがん診療連携推進病院等 15施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 地域リハビリテーション支援センター 4施設

5つの医療で地域のニーズ対応**5事業5疾病****1) 5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）**

①救急医療・地域住民と地域医療に貢献するために、救急医療に積極的に取り組み、救急患者の受入数の増加を目指します。

- 救命救急センター：2施設
- 救急医療提供病院：57施設

②災害医療・大規模災害が発生した場合には、被災地の実情に応じ、災害発生初期のみならず持続的に支援を行います。

- 災害拠点病院：13施設
- 災害支援病院・協力病院・救護病院：14施設

③へき地医療・へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力を行います。

- へき地医療拠点病院：4施設
- へき地診療の支援：12施設
- へき地診療所の指定管理者：2施設

④周産期医療・分娩数、ハイリスク分娩数、母体又は新生児搬送の受入数について増加を目指します。

- 地域周産期母子医療センター：6施設
- ハイリスク分娩を取り扱う病院：15施設

⑤小児医療・小児救急患者の受入数について増加を目指します。

- 小児救急医療（病院群輪番制・夜間休日対応）：23施設

2) 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

地域のニーズを踏まえ、各病院においてこれまでの取組の充実を行います。

**研究事業****地域医療機能の向上に係る調査研究の推進**

健診事業・診療事業・介護事業で得られたデータを統合し、公衆衛生学・社会的なアプローチも含めた調査研究を行い、その成果を地域の課題解決に係るモデル等として情報発信します。

各関連機関と連携した取組（臨床研究及び治験の推進）

JCHOが有する全国ネットワークを活用し、EBM（エビデンスに基づく医療（Evidence Based Medicine））推進のための臨床研究を推進します。また、治験・市販後調査にも取り組みます。

地域の医療・介護従事者や地域住民に対する教育活動

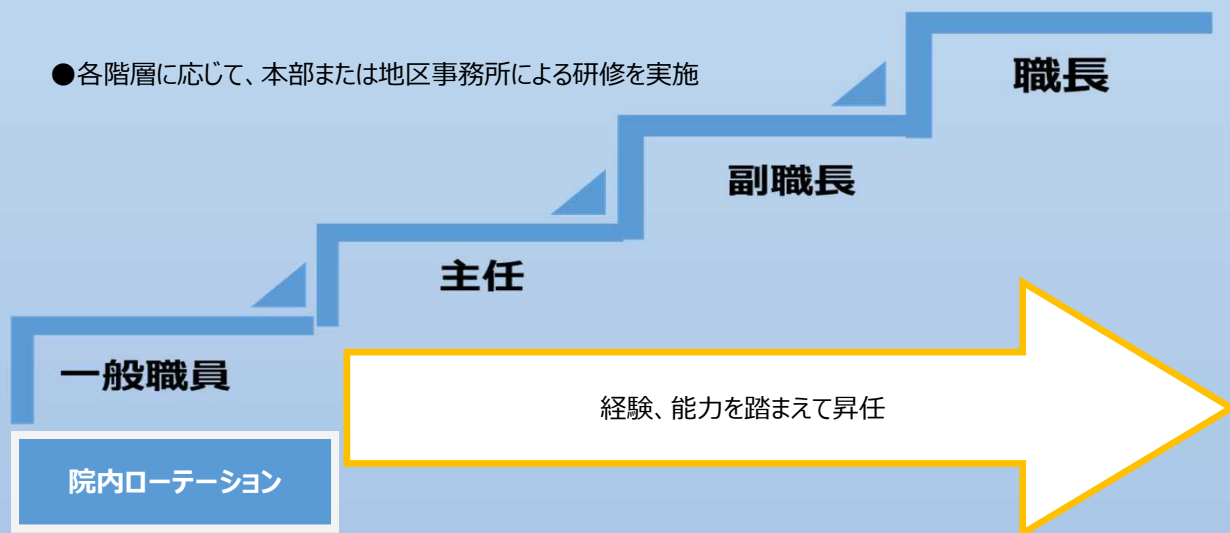
地域の医療・介護の従事者に対し、地域連携等に係る研究会の開催や医療従事者の人材育成に係る研修事業を実施します。

地域住民の健康の意識を高めることなどを目的として、地域住民を対象とした公開講座等を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施します。

地域医療・地域包括ケアの要となる人材の育成

JCHOの特色を活かした臨床研修プログラムやキャリアパスにより、JCHOが担う医療等に対する使命感をもった職員の確保・育成に努めます。

●各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施



JCHOではキャリアアップの一環として、採用病院での勤務では得られない、管内他病院での特徴ある医療を経験できるよう異動を行い、視野の広い医療専門職を養成し地域医療を支えます。※異動は、各職員の事情を考慮します。

先輩職員からのメッセージ

患者様のために日々成長し続ける理学療法士を目指して・・・

JCHO湯布院病院ではリハビリテーションを中心とした地域医療を行っており、回復期病棟や地域包括ケア病棟、一般病棟と様々な症例を見ることができます。また、当院では先進リハビリテーション機器を導入しています。私はトヨタ歩行練習アシストのチームに所属しています。このチームにすることで学会発表をする機会が増え、理学療法士として成長する貴重なきっかけになっています。まだまだ知識や経験も浅いですが、この恵まれた環境を生かして患者様により良いリハビリテーションが提供できるよう一生懸命頑張っていきたいと思います。



植村 周平
JCHO湯布院病院
2014年 入職



小谷 実由
JCHO宮崎江南病院
2015年 入職

患者様から信頼される理学療法士になるために...

JCHO宮崎江南病院では多くの診療科があるため、様々な症例に携わる機会が多くあります。そのため、多職種の勉強会が毎週開催され、他分野の様々な勉強をすることができます。現在は理学療法士として回復期リハビリテーション病棟で勤務させていただいておりますが昨年度は地域包括ケア病棟に勤務していました。各病棟でリハビリの担う役割が違いため、院内の他分野の勉強会などにも参加し、各病棟の特色などを学び、日々の業務に励んでいます。これからも患者様のために、努力を怠らず、精進していきたいです。

待遇について

1) 給与 給与は独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

(平成30年4月現在)

採用1年目		大卒	短大3卒
月給	基本給	185,400	174,200
	諸手当込※	216,600	205,400

※諸手当・条件に応じて下記の手当が支給されます。

通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当、広域異動手当、地域手当（都市手当：勤務地により異なる）等
上記は、九州地区の病院勤務で通勤は車で5kmの距離、家賃55,000円の場合の例です。

通勤手当、住宅手当は条件により変わります。

- 賞与（年2回）、年度末賞与（医業収益が良好な病院に支給）

2) 休日・祝日等

4週間を通じて8日、他に国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の休日

3) 休暇等

年次休暇（年20日 繰越日数最高20日 初年度は在職期間に応じ定めた日数）、病気休暇、
特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、子の看護休暇、忌引き、災害被災時など）
その他：育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業 等

4) 福利厚生

- ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- ・退職金制度
- ・院内保育所あり（下関医療センター・徳山中央病院・九州病院・久留米総合病院・佐賀中部病院・諫早総合病院）

5) ワーク・ライフ・バランス支援

- ・「育児短時間勤務」「育児休業」などの各種制度の確保
- ・院内保育所の整備
- ・常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、地域医療機能推進機構内の病院へ異動の希望を支援します。

下関医療センター

住所：山口県下関市上新地町三丁目3番8号

TEL：083-231-5811

mail：main@shimonoseki.jcho.go.jp

担当：総務企画課 職員係

病床数：315床 宿舎：あり 保育所：あり

診療科：総合内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・内分泌外科



職場長からのメッセージ

いつも明るく笑顔の絶えない職場です。自己実現目指してスタッフ丸となり日々、研鑽していきます。

理念目標

技術を尽くして 想いに 応える。

《特徴》

当院のリハビリテーション部の特徴としては、脳血管疾患患者さんが多く、次いで、外科手術後などの廃用症候群の患者さんや整形外科患者さんが対象となっています。我々、セラピストは、患者さんに、様々な感覚入力を提供していきます。特に、脳血管疾患患者さんに、使用する感覚は、表在感覚、固有感覚、聴覚、視覚、前庭感覚で、対象患者さんに対して、どの場面でどのような種類の感覚入力をどうタイミングで提供するか、感覚入力の大さきや幅は、どうするか判断していきます。日々、患者さんの可能性にチャレンジしています。

スタッフ数 病院：PT 7名、OT 4名、ST 2名、補助員3名

老健：PT 2名、OT 1名

《職種》

・理学療法 ・作業療法 ・言語聴覚療法

上記3職種が日々、奮闘しています。



理学療法

理学療法士は、寝たきりから自分で歩いて移動するまでの能力の獲得を目標に、筋力強化・バランス改善運動・電気刺激やホットパックなどの物理療法などを行っていきます。



作業療法

作業療法士は、服を着替える・食事を摂る・字を書くなどの日常生活上の動作能力の改善を目標に、箸の使用・書字などの動作指導を行っていきます。



資格取得者

ポバースアプローチ成人片麻痺基礎講習会受講	4名
ポバースアプローチ成人片麻痺上級講習会受講	2名
Gerinde HaaselによるNORMAL MOVEMENT CORSE(基礎・臨床)	1名
STのためのインフォメーション講習会受講	1名
(ポバース概念に基づいた構音・摂食・嚥下の治療評価・治療手技・治療実習)	1名
NST専門療法士(日本静脈経腸栄養学会)	1名
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士	1名

言語療法

・言語聴覚士は、呂律が回らない、言葉が思い出せない、などの言葉を中心としたコミュニケーション障害や、むせる、飲み込みにくいといった嚥下障害に関わります。嚥下障害に対しては、必要に応じ、NST(栄養サポートチーム)の一人として他職種と協力したアプローチも行います。
・さらに、日常生活を支える能力である高次脳機能(注意、記憶、計画を立てるなど)の障害への検査や訓練も行います。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

徳山中央病院

住所：山口県周南市孝田町1番1号

TEL：0834-28-4411

mail：soumu@tokuyama.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：519床 寮・宿舎：なし 保育所：あり

診療科：内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、糖尿病内
分泌内科、小児科、外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リウマチ科、
皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、
麻酔科、ペインクリニック内科、心臓血管外科、歯科、歯科口腔外科、
緩和ケア内科、精神科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科



病院の特色：周南市・下松市・光市の3市で構成される人口約26万人を擁する診療圏の基幹病院です。ダ・ヴィンチ・サージカルシステム、ノバリス（高精度放射線治療装置）、PET-CT、320列CT、ハイブリッド手術室等の最新鋭の医療機器設備を装備し、高度な医療の提供を目指すとともに救命救急センターや屋上ヘリポートを有し地域の急性期医療を担っています。三次救急病院として24時間の受入体制を整備し、地域の方々からは「とくちゅう」として親しまれています。地域がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けています。

スタッフ構成

PT 20名
OT 12名
ST 3名

部署テーマ

～笑顔のある生活をめざして～

方針

- ・病院理念に基づき、急性期リハビリテーションを提供する
- ・関連機関と連携し、地域リハビリテーションを推進する
- ・後進を育成し、リハビリテーションの普及に貢献する

施設基準

脳血管（I）
運動器（I）
呼吸器（I）
廃用（I）
がん

職場長からのメッセージ

部署内外問わず、とても風通しが良く、皆さんのやる気をサポートする体制が整っています。



特徴

対象疾患は脳血管疾患・運動器疾患を中心に急性期疾患の多岐にわたります。
地域の基幹救急病院であり、近隣の回復期病院とシームレスなりハビリを提供するため、365日体制でリハビリを提供し、密な連携をとっています。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

九州病院



住所：北九州市八幡西区岸の浦 1 丁目 8 番 1 号

TEL：093-641-5111（代）

mail：jinji@kyusyu.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：575床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：整形外科、外科、呼吸器外科、消化器外科、胃腸外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、胆のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科

病院の特色：1955年に九州厚生年金病院として設立。急性期医療施設として、北九州における基幹病院の役割を担っています。2017年度1日平均入院患者数464.2人、1日平均外来患者数743.7人、平均在院日数12.0日、病床稼働率87.5%、職員数は約1,100人。新生児から超高齢者までの循環器疾患治療と心臓外科手術、地域がん診療連携拠点病院としてがん看護、緩和ケア、福岡県地域周産期母子医療センターとして周産期医療、小児医療に取り組んでいます。また、救急告示病院としてヘリポートの設置、救急医療体制の充実にも力を注いでいます。



職場長からのメッセージ

急性期リハや「がん疾患」リハなどを実施していくうえで必要な技術を丁寧に指導し、実施できるよう育成します。

【理念】

病める人の立場に立って
早期より最適最良のリハビリテーションを提供します。
また将来の医療を担う、優れた技術者の育成に努めます。

【温かい接遇】と【適切な臨床判断】を心掛け、【効果の検証】を行いながら患者や他職種からも信頼される急性期リハビリテーションサービスの実施を目指しています。



新人教育プログラムを完備。教育チームが3年間サポートをします。身体障害、内部障害、がんなど多様な疾患を担当する事ができます。

年	到達目標	内容
1年	援助して出来る	・疾患別講義、技術指導 ・ミニカンファ（1回/週） ・症例発表
2年	自立して出来る	・ミニカンファ、症例発表 ・プレゼンテーション指導
3年	教える事が出来る	・疾患別症例発表 ・評価実習生担当 ・学術発表指導

チーム医療に貢献するエキスパートの育成を行っています。

- ・心臓リハビリテーション指導士 7名
- ・呼吸療法認定士 5名
- ・糖尿病療養指導士 2名
- ・栄養サポートチーム専門療法士 1名



独立行政法人 地域医療機能推進機構

久留米総合病院

住所：福岡県久留米市櫛原町21番地

TEL：0942-33-1211

担当者：総務企画課

mail：main@kurume.jcho.go.jp

病床数：175床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌代謝内科、循環器内科、腎臓内科、腎臓外科、一般外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック内科、皮膚科、眼科、放射線科、精神科（リエゾン）、病理診断科、総合診療科、女性総合診療科、リハビリテーションセンター、外来化学療法センター、手術センター



病院の特色：当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健（健康管理センター）、医療（病院）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。

全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。



【職場長からのメッセージ】

リハビリテーション部では「心の通うリハビリで地域へ貢献」を理念としています。

ADL自立度向上・QOL改善のためには、機能障害や能力障害に対するリハビリだけではなく、患者さんが抱える不安や悩みなどを傾聴し、患者の立場を尊重した細やかな気配りが出来ることも必要です。技術および資質面のうえでも専門性を高めていける働きがいのある職場環境です。あなたも是非、私たちと一緒に働いてみませんか？

【理念】

心の通うリハビリで地域へ貢献

【特色】

整形外科術後の運動器疾患リハビリテーションをはじめ、外科術後や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患、脳血管疾患および心大血管疾患などの多岐にわたりリハビリを行っています。また、がん患者リハビリテーションも行っており、特に乳がん患者さんには、リンパマッサージの指導や疼痛の軽減を図りながら浮腫の予防・ADLの向上につとめています。

スタッフ全員集合！





独立行政法人 地域医療機能推進機構

福岡ゆたか中央病院



住所：福岡県直方市大字感田523-5

TEL：0949-26-2311

担当者：総務企画課

mail：main@fukuoka.jcho.go.jp

病床数：162床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、外科、乳腺外科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ科、循環器内科、呼吸器外科、整形外科、眼科、
肛門科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

病院の特色：当院は、病床数162床の急性期病院として、「地域包括ケアの医療の要」機能を果たしていくことを第一の使命とし、地域の皆さまより深い信頼を寄せられ、地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針のもと、働きがいのある病院づくりで、地域の方々のみならず、職員の皆さまからも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。



職場長からのメッセージ

一人ひとりが目標や役割を持てる職場です。スタッフ全員で患者様に「リハビリを受けてよかった」と思ってもらえる質の高いリハビリテーションの実現を目指しています。

スタッフ構成

PT：8名 OT：5名 事務員：2名

施設基準

脳血管リハ I ・廃用リハ I ・運動器リハ I ・呼吸器リハ I
・がんリハ

リハビリテーション科 理念

1. その人らしい生活の再獲得を目指し、チームアプローチによるリハビリテーションを推進します。
2. 早期リハビリテーションで早期離床、地域医療機関との連携で安心な退院を目指します。

人材育成への取り組み

新人教育プログラムに沿って、急性期リハに必要な知識・技術研修を定期的に行い、資格取得も推奨しています。

また、臨床における質問に対してスタッフ全員で考え抜く職場風土を大切にしています。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

佐賀中部病院



住所：佐賀県佐賀市兵庫南三丁目8-1

Tel：0952-28-5311

担当者：総務企画課

mail：main@saga.jcho.go.jp

病床数：160床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、脳神経内科、放射線科、病理診断科

病院の特色

昭和21年に設立され、平成8年に現在地に移転しました。

病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。



職場長からのメッセージ

働きやすい職場環境を整え、リハビリスタッフとしてのキャリアアップをサポートしていきます。

是非、一緒に働きましょう。

【リハビリテーション理念】

- ・ 患者様が障害を持ちながら尊厳ある人生・生活を送れるように支援していきます。
- ・ 患者様を中心としたリハビリテーションを提供します。

施設基準

- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- がん患者リハビリテーション料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

当院リハ科の主な対象疾患は、運動器疾患（手の外科、股関節、膝関節など）、脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、がん患者などです。介護老人保健施設や訪問リハ事業所を併設し維持期・在宅リハも行っています。



3学会合同呼吸療法認定士5名

がん患者リハビリテーション研修修了8名



研修

- ・院内研修会：年数回
- ・部署内研修：リハビリ勉強会毎月1回
- ・学会や発表の援助・指導





独立行政法人 地域医療機能推進機構

伊万里松浦病院



住所：佐賀県伊万里市山代町立岩417番地

TEL：0955-28-3100

担当者：総務企画課

mail：main@imari.jcho.go.jp

病床数：112床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、こころ科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科

病院の特色：当院は佐賀県伊万里市にありますが、長崎県松浦市にある松浦市立中央診療所の委託運営を行っており両県をまたいだ診療を行っております。平成27年4月には松浦市立中央診療所に当院附属の訪問看護ステーションが設置され、伊万里市、松浦市の両市において、広く訪問リハビリを展開しています。また院内においては、運動器疾患、呼吸器疾患、中枢神経疾患、糖尿病など多様な患者様がいらっしゃり、各スタッフがそれぞれの専門分野を生かしたリハビリを行っております。



職場長からのメッセージ

地域密着病院で、地域の方々との繋がりを大切にしています。各スタッフが専門性を発揮できるようサポートしていきます。



リハビリテーション部門の概要：理学療法士：6名 作業療法士：4名（内：訪問看護ステーション1名）

《施設基準》運動器Ⅰ 呼吸器Ⅰ 脳血管Ⅱ 廃用Ⅱ

《有資格》呼吸療法認定士：4名 認定理学療法士(呼吸)(代謝)：各1名 日本糖尿病療養指導士：1名

佐賀県糖尿病療養指導士：1名 栄養サポートチーム専門療法士：1名

摂食・嚥下コーディネーター（長崎嚥下リハ）：4名 介護支援専門員：1名

当部署では月2回以上を目標に、「リハビリテーション部内勉強会」を実施し、研修会の伝達講習等、スタッフのレベルアップを図っています。



当院PT・OTスタッフは摂食嚥下チームとして積極的に関与しており、摂食機能療法の実施に取り組んでいます。また、院内デイケアや園芸活動もOT部門を中心におこなっており、入院患者さんへのQOLの維持・向上を目指しています。

諫早総合病院



住所：長崎県諫早市永昌東町24番1号

TEL：0957-22-1380

担当者：総務企画課

mail：soumu@isahaya.jcho.go.jp

病床数：323床 寮・宿舎：なし 保育所：あり

一般病床315床（うちICU8床）、結核病床8床

診療科：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科

職員数：約570名

病院の特色：当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約20万人の医療圏において医療を提供しています。

病床数323床、診療科22、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。



職場長からのメッセージ

急性期リハビリテーションの担い手として一緒に力を発揮しませんか？
あなたの『やる気』を支えます。
すべては患者さんの為に……！

【理念目標】

患者さんを中心としたリハビリテーションを提供し、「生活再建」を最終目標として、早期から関わり、地域関係者との連携に努めます。

当院のリハビリテーション施設基準は①脳血管リハⅠ ②運動器リハⅠ ③呼吸器リハⅠ ④心大血管Ⅰ ⑤がん患者リハ ⑥廃用症候群リハⅠの認定を受けています。

PT（6名）はそれぞれ運動器班、心臓リハ班、呼吸器リハ班、脳血管リハ班、がんリハ班として専門的に担当しています。

OT（3名）はそれぞれの疾患に対応し、ST（3名）も摂食嚥下機能や高次脳機能障害など幅広く対応しています。

入職後2か月程度は基本的なことから徐々に全般的なリハビリテーションが行えるように先輩方が支えていきます。

リハビリテーションの最終目標は「生活再建」です。そのためにも医療・介護の連携を密にし、地域包括ケアシステムの一翼を担える重要な部門です。

また、各専門職の学術的研究や認定取得に関しても全面的に支援していきます。



『医師・看護師・その他の職員との連携も素晴らしい職場です。』



熊本総合病院

住所：熊本県八代市通町10番10号

Tel：0965-32-7111

担当者：総務企画課

mail：main@kumamoto.jcho.go.jp

病床数：344床（一般340床・感染4床）

宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、総合診療科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科



病院の特色：当院は、「機能溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマーク」になって新しい美しい街創りに貢献する病院です。「医療と共に公に一肌脱ぐ」、「職員自身がかけたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインのニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。



職場長からのメッセージ

地域医療に貢献し、地域の皆様に信頼されるよう、効率的で効果的なリハビリテーション医療に努めています。療法士自身のやりがいのある、働きやすい環境をめざしています。

リハビリテーション部の理念

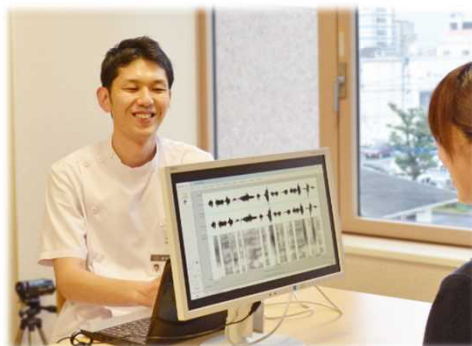
急性期から回復期までの高度で先進的な技術と知識の習得に努め、質の高い充実したリハビリテーション体制を構築する。また、リハビリテーション医療の一員として、医師・看護師ならびに関連職種と積極的に連携を図るよう努める。

【取り組み】

リハビリの処方件数は整形外科、脳卒中センターが多くを占めていますが、循環器センター、腎センターからの依頼も年々増加傾向にあります。急性期における早期リハビリテーションの重要性から、廃用症候群等の二次的合併症の予防や外科的術後の早期離床のためベッドサイドリハを充実させ、患者様にやさしくより高度な医療のために専門リハビリテーション療法士の育成とチーム医療に取り組んでいます。

【人材育成】

各種疾患に対応するスペシャリストの育成の必要性から、心臓リハビリ指導士、糖尿病療養指導士、呼吸療法士等の資格を取得し、専門性の推進に努めています。それぞれの療法士は専門分野での高度な知識と技術が求められるため、積極的に研修会や勉強会に参加し、それを伝達講習することで全体のレベルアップを図っています。



人吉医療センター

住 所：熊本県人吉市老神町35番地
 T E L：0966-22-2191
 担当者：総務企画課
 mail：main@hitoyoshi.jcho.go.jp
 寮・宿舎：なし
 病床数：252床



診療科：糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、小児科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、画像診断センター、産婦人科、麻酔科、総合診療科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、相談支援センター、がんケアセンター、訪問看護ステーション

全人医療

“140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します”の理念のもと、地域の医師会、大学、行政、住民の皆様と協力して5疾病5事業を始めとして地域の医療・介護福祉に貢献していきます。また、人吉球磨地方だけでなく南九州3県県境地域を診療域とし地域包括ケアに必要な総合診療医を育成する体制も整えています。予防から治療・緩和ケア・在宅支援まで本院が目指している全人医療を提供します。

職場長からのメッセージ

急性期のリハビリとして、多くの診療科を経験する事ができます。診療科ごとにチームを組んでおり、一緒に知識・技術を高めていきましょう。



リハビリテーションセンターの概要

心大血管(I)	専門資格取得者
脳血管等リハ(I)	心臓リハビリテーション指導士 2名
廃用症候群リハ(I)	3学会合同呼吸療法認定士 4名
運動器リハ(I)	介護支援専門員 1名
呼吸器リハ(I)	
がん患者リハ	

リハビリテーションセンターの役割

当院は急性期病院であり、ICU(集中治療室)の時期よりリハビリが開始され、脳血管疾患、運動器疾患をはじめ呼吸器疾患やがん患者などにおいて、早期から、機能・能力の再獲得や廃用症候群の予防を目指しています。更に、社会復帰や回復期リハビリテーション病院へ繋ぐため連携パスやサマリーを活用し近隣医療機関と連携をとっています。特に、心大血管疾患の患者様は、外来リハビリにおいて集団訓練を行い、日常生活での活動量増加に向けフォローアップを行っています。

また、セラピスト各自が専門職のプロとしての意識を持ち、患者様と共に多職種と連携しリハビリテーションに取り組んでいます。

- ◆医師 9名 ◆言語聴覚士 3名
- ◆理学療法士 13名 ◆看護師 1名
- ◆作業療法士 4名



住所：熊本県天草市東町101番地

TEL：0969-22-0011

担当者：総務企画課

mail：soumu@amakusa.jcho.go.jp

病床数：155床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、歯科口腔外科、麻酔科



病院の特色

熊本南西部にあり、周囲を藍く美しい海に囲まれた天草上島・天草下島・御所浦島などの天草諸島の中央にあります。「やさしさと思いやりのある医療をすべての患者様へ」という病院理念のもと、病院・介護老人保健施設・健康管理センターが交流し、患者様に寄り添い、1人1人の自己実現に向けた地域生活向上を目指しています。

また、熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院を有し、専門医療の充実と他診療科との連携・救急医療、がん診療・治療も行っております。さらに、超強化型介護老人保健施設を取得し積極的な在宅復帰を目指し、在宅に帰られた後も通所リハ・訪問リハと途切れないサービスを提供しています。



職場長からのメッセージ

明るく、笑顔の絶えない職場です。
患者様、ご家族に満足していただけるよう、いきいきとした患者様の生活を支援していきます。

資格取得者

がん患者リハ研修終了 5名

介護支援専門員 3名

リスクマネージャー 1名

住環境福祉コーディネーター（2級）4名

《施設基準》

病院

脳血管リハ料（Ⅱ）
運動器リハ料（Ⅰ）
呼吸器リハ料（Ⅰ）
廃用症候群リハ料（Ⅱ）
がん患者リハ料

介護老人保健施設

短期集中個別リハ実施加算
認知症短期集中リハ実施加算
個別リハ実施加算
生活行為向上リハ実施加算



病院

PT 5名 OT 3名 ST 1名 補助 1名



介護老人保健施設

Dr. 1名 PT 4名 OT 2名





独立行政法人 地域医療機能推進機構

南海医療センター

新病院2020年完成予定



住所：大分県佐伯市常盤西町11-20

Tel：0972-22-0547

担当者：総務企画課

mail：main@nankai.jcho.go.jp

寮・宿舎：1DKバス・トイレ、冷暖房完備

病床数：病院260床、老人保健施設100床

診療科：内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科（休診中）、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、リハビリテーション科、循環器内科、麻酔科

病院の特色：大分県南地域の中核病院として急性期医療を担っており、救急患者の受け入れを行っています。リハビリテーションでも、発症早期からの介入を行い、より安全な早期離床と、社会生活への復帰に向けた取り組みを行っています。老人保健施設を併設し昨年より訪問リハビリテーションを開始しました。今後も医療～介護に渡り充実したリハビリテーションが提供できるようにしていきます。

職場長からのメッセージ



理学療法、作業療法、言語
覚療法が互いに協力し、リハビリ
テーションを進めていきます。
明るいスタッフと一緒に働き
ましょう。

【リハビリテーション室理念】

- 思いやりのある言動を心掛け、心温まるリハビリテーション室を目指します。
- 専門技術を習得し、安全かつ最良なりハビリテーションを提供することを心がけます。

スタッフ数

- ・病院：PT12名、OT4名、ST2名、補助員2名
- ・老健：PT 4名、OT1名

専門資格取得者

- ・心臓リハビリテーション指導士 5名
- ・呼吸療法認定士 2名
- ・認定理学療法士 3名
- ・介護支援専門員 4名
- ・日本糖尿病療養指導士 1名
- ・大分県糖尿病療養指導士 1名
- ・がん患者リハビリテーション研修修了者 10名

新人教育

- ・2年間、プリセプターが付き指導を行います。
- ・症例検討会を通じてレベルアップを図ります。
- ・対外的な発表の援助、指導を行っています。
- ・リハビリ以外の研修も行い、知識を広げます



主な対象疾患

- ・整形外科疾患(大腿骨頸部骨折など)
- ・循環器疾患(心筋梗塞、心不全など)
- ・内科疾患(血液内科、消化器内科など)
- ・外科疾患(消化器系の手術後など)
- ・脳血管疾患、泌尿器科疾患

院内のチーム活動への参加

嚥下、呼吸、糖尿病、NST、
認知症ケア、退院支援





独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

住所：大分県由布市湯布院町川南252

TEL：0977-84-3171

担当者：総務企画課

mail：main@yufuin.jcho.go.jp

病床数：273床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科



病院の特色：温泉観光地「湯布院」という豊かな自然環境のなか、リハビリテーションを核とした地域医療を推進しています。大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）として大分県から委託され、6圏11広域支援センターおよび19の職能団体と協力して地域リハビリテーションの啓蒙・普及に努めています。また、県リハ支援センターが事務局となっている大分災害リハビリテーション推進協議会（大分JRAT）と大分県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結して、災害時における被災者の医療救護の協力をおこなっています。

由布地域包括ケア推進協議会（実施主体：湯布院病院、地区医師会、中部保健所）では、由布市から委託されて主体的・実践的に協働しています。

「いつも笑顔で真心こめて」



急性期・回復期・生活期・
終末期の各時期に合わせた
その人らしい人生が構築で
きるリハビリを提供してい
ます。

【理念目標】

リハビリテーション医療についての正確な知識と技術をもってチ
ーム医療に徹し、

1. 隠れたプラスを見つけるリハビリテーション
2. 新しい生活と人生が展望できるリハビリテーション
3. 人間らしく生きるためのリハビリテーション
4. 心が通い合うリハビリテーション

を提供するため、「常に進化するリハビリテーション」を求めて最
善の努力を尽くします。

リハビリテーション科には、PT52名、OT23名、ST11名、歯科衛生士2名、
健康運動指導士1名を配属、各専門職が連携した高いチーム医療を展開しています。

先進的なリハビリ治療として、トヨタ自動車株式会社が開発した歩行練習アシスト
（ウェルワーク）、HONDA歩行アシスト、経頭蓋磁気刺激装置、機能的電気刺激治
療（IVES、Torio）などを活用することで今までのエビデンスを超える効果を出せるよう
に取り組んでいます。また、三次元動作解析装置、光トポグラフィーなどを用いた客観的
評価を通して治療効果の確認を患者様と一緒にを行っています。

（トヨタ ウェルワーク）



当院は大分県リハビリテーション支援センター、大分JRAT
事務局を大分県より受託しており、災害リハビリ支援、介護
予防、地域リハビリ支援事業などの地域リハビリテーション
に力を入れて、地域を支える人材の育成にも努めています。

患者様の入院前の生活を知り、退院後にその人らしく暮
らすための伴走者となること、
最大限の生活機能改善のため
チームで支えることを大切に
しています。





住所：宮崎市大坪西1丁目2番1号

TEL：0985-51-7575

担当者：総務企画課

mail：main@miyazaki.jcho.go.jp

病床数：269床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、循環器内科

病院の特色

1. 地域医療支援病院である
2. 形成外科認定施設である
3. 急性期から慢性期に至る患者を対象としている
4. 宮崎NST研究会の幹事病院で、NST教育認定施設である
5. 訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している

職場長からのメッセージ



急性期・回復期・生活期と色々な体験ができます。元気でやる気のある方、一緒に頑張りませんか！

理念目標等

- ・対象者の自立支援を促す視点を念頭に、リハビリテーション知識や技術を高める
- ・患者のニーズに即した生活ができるような退院調整、アプローチを早期から行う
- ・院内だけではなく地域へのアプローチも積極的に行う

PT32名、OT19名、ST3名で、病院・介護老人保健施設・訪問リハビリ事業所に配置しています。対象としては整形疾患の割合が多いですが、心臓リハビリテーション、がんのリハビリテーション、ハンドセラピー、フットケアも実施しています。また、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟があり、在宅復帰に向けた取り組みを積極的に行っています。シーティング外来も開設しており、車椅子備品、座圧センサーを取り揃え、車椅子の環境調整も行っています。他職種向けの研修会を年6回開催し、4月の新人看護介護職員向けの研修会を入職2年目の職員に行ってもらっています。教育体制は、リハビリ部門のマニュアルに沿った新人教育と、分野別の成長支援プログラムを実施しています。年に数回の外部講師を招いての研修会や、学会等への出張支援も行っています。



JCHO九州地区



JCHO九州地区

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州地区事務所

〒806-8501

福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1

☎ : 093-641-9744(代表)

Fax : 093-641-9110

<http://www.jcho.go.jp/chikukyusyu/>